

高大連携高校生防災教育推進事業

高校生防災セミナー

2023年12月25日(月)

愛知県立時習館高等学校

◎発表内容

6月2日の豪雨での地元および本校への被害

豊橋市役所への訪問

文化祭での防災特集

校内防災ツアーについて

私たちの修学旅行は5月31日から6月2日の3日間の予定だった。

6月2日に東海地方を襲った豪雨の影響で新幹線が新大阪駅で止まったため豊橋に帰ることができず、大阪で宿泊した。

その時私たちは、災害時に本当に必要なものを実際に体感するという方法で知った。

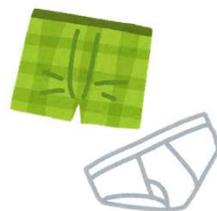
食事



きちんとした寝床



替えの下着



正確で最新の情報



◎6月2日の豪雨被害

豊橋市への被害

- ・336人が避難所を利用した（泊まっていない人もいる）



柳生川の様子



渥美線老津駅の様子

豊川市への被害

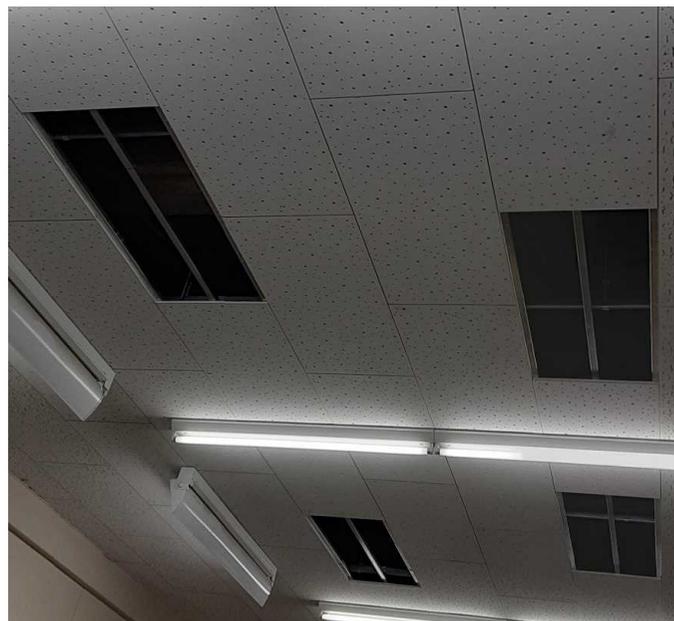


冠水している交差点



立ち往生している
多数の自動車

時習館への被害



1-3教室 豪雨による雨漏りがあり、天井の板が一部外され床の板は一部が浮いてしまった。

豊橋市役所防災危機管理課への訪問(7/28)

- ・市の防災食や簡易トイレなどは5万人の2日分（1日2食）が倉庫に保管されている
市の人口は約37万人で、地震の発生時に不足が予想される
2日目くらいから市の職員から配布
- ・本校の体育館には528人が避難する想定
食料は228食しかないので家庭で備えてほしい
- ・避難所運営委員会は自治会の防災係が中心となるが、
学生や女性がいると円滑に進む
高校生に積極的にボランティアをしてほしい
- ・物資の盗難があるので必ず鍵をかける
- ・地域住民と学校で協力して避難訓練をする必要がある



◎災害ボランティアコーディネーター養成講座に参加(昨年度)

○会員による講義

- ・災害ボランティアの心得と役割
- ・災害ボランティアセンターの運営について
- ・災害ボランティアセンターの運営の模擬体験
- ・コーディネーターの方法

○印象に残ったこと

- ・ボランティアは食費、交通費、宿泊費などは自己負担が原則
ごみの持ち帰りを徹底する、安全の確保も自分で行う
- ・依頼に対して最大限の努力をする

◎校内防災ツアー(昨年度の様子)

◦ハザードマップの解説



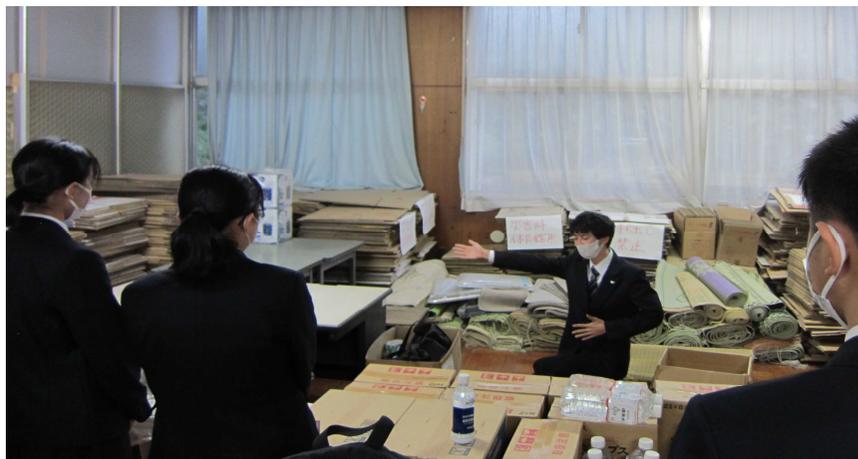
ハザードマップの見方の説明をしているところ



学校近辺のハザードマップを使って解説

◎校内防災ツアー(昨年度の様子)

◦防災備蓄品見学



段ボールや畳、水がどれくらいあるかの説明



備蓄品の帰宅支援セットの説明中

◎さいごに

実際に災害に遭い、困った経験から、災害時に本当に欲しい支援を理解できた。

学校にいる間に災害が起きても対応できるように時習館としてできること、すべきことを今のうちから考え、残しておきたい。

昨年度に行った防災の取り組みを継続して行っていきたい。

本研究は2022年度～23年度にわたり歴史部生徒が研究実践し、2023年12月名古屋大学減災館にて発表したものである。